

松田川ダムについて

松田川ダムの機能や警報活動について、理解を深めていただくために下記内容を周知しております。

松田川周辺の住民の皆様は、災害時に迅速な避難につなげていただきますようお願いいたします。

松田川ダムってどんなダム？

松田川ダムは、「洪水調節」「流水の正常な機能の維持」「上水道用水の確保」を目的として平成7年度に完成した重力式コンクリート形式の多目的ダムである。

ダムの洪水調節とは？

「洪水調節」とは、上流からの水の一部をダム湖に貯留することで、下流へ流す流量を調節すること。これにより、河川の急激な水位上昇・洪水被害を軽減できる。



大雨が降る時はどうすればいいの？

職員による警報活動（警報局のサイレン・警報車からのアナウンス）を実施します。

警報局のサイレン音や警報車からのアナウンスが聞こえたら、川に近づかないようにお願いします。



【警報局のサイレン】



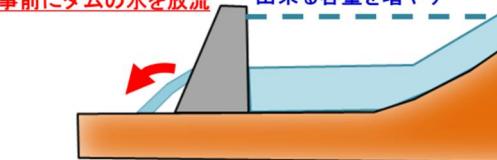
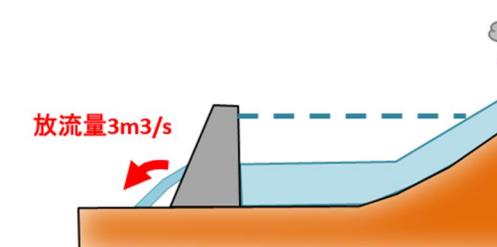
【警報車からのアナウンス】

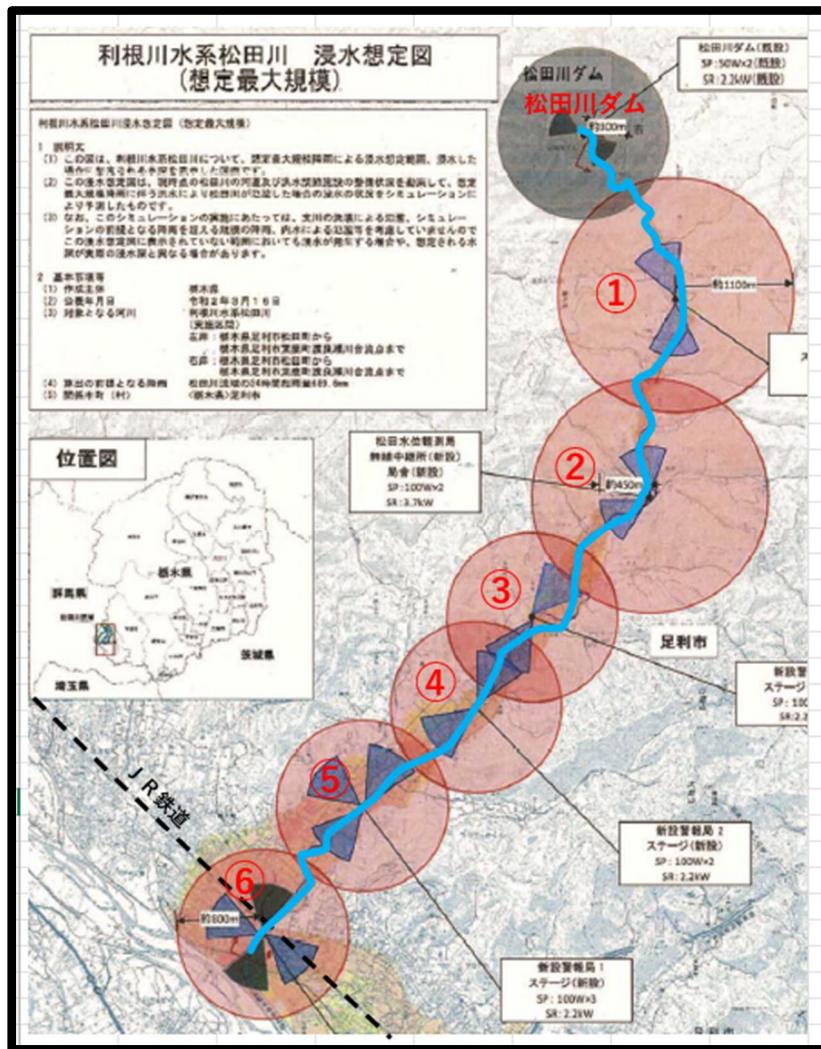
こちらは安足土木事務所です。
河川の水位が急激に上昇する恐
れがありますので河川には近づ
かないでください。

（注意！）

警報活動は、あくまでダムの放流がある合図であり、避難のタイミングをお知らせするものではありません。
避難のタイミングは、県・足利市・各メディア等から発表される防災情報を確認しご判断ください。

警報活動を行うタイミングは以下の3つです。

<p>① 事前放流</p> <p>日雨量 500mm 以上の降雨が予想される場合に、 <u>洪水時に貯留できる容量を増やすため</u> <u>ダム内の水を事前に放流する。</u></p> <p>→事前放流は洪水の 3 日前から実施するため、 <u>晴れの日も川の水位が上昇し危険。</u></p>	 <p>①洪水に備え 事前にダムの水を放流</p> <p>②洪水時に貯留 出来る容量を増やす</p>
<p>② 放流量 3m³/s に達すると予想される 1 時間前</p> <p>→通常の放流量より多い状態のため、 川の水位が上昇し、危険な状態。</p> <p>(参考: 令和元年東日本台風の際は、約 2.7m³ の放流)</p>	 <p>放流量3m³/s</p>
<p>③ 緊急放流に達すると予想される 3 時間前</p> <p>緊急放流とは、ダムが満杯になり、流入量と同程度の放流量が下流に流れ出すこと。</p> <p>→松田川の水位が急激に上昇するため、 非常に危険な状態。</p> <p>(※過去に緊急放流に至ったことはありません。)</p>	 <p>ダムが満杯になり、 下流へ流れ出す</p>



警報局の位置

及び

音が聞こえる範囲

(問合せ先)

栃木県安足十木事務所 保全第一部

栃木県足利市伊勢町4丁目9番地